

◇全国標準積算資料説明会◇

積算報告会

東北地質調査業協会積算委員会では、平成4年2月27日と28日の両日、本年度積算資料説明会を、岩手県、青森県にて開催いたしました。

2月27日は、岩手県盛岡市内の『労働福祉会館』にて午後1時30分より3時間、県内の中央官庁、県土木事務所、農林、土地改良他、地元盛岡市役所はじめ、市町村の担当者及び民間企業の土木技術者多数が出席のもと開催されました。

当日は、朝から雪が降り、遠方の受講者の出席が危ぶまれたのですが、その心配も取越し苦勞に終るほどの多数の出席者で会場がいっぱいになりました。

協賛の岩手県地質調査ボーリング協会・高橋会長、東北地質調査業協会・長谷理事長の挨拶で始まり講師は全地連の矢島専務理事にお願いし、途中10分の休憩をとり3時間で調査編、工事編の説明と質疑応答が行われました。

今回は、講義の特徴として、特にコンサルティング業務費の計上を重点的に話されていたのが印象に残りました。



翌日は、『青森県観光物産館』（アスパム）にて、午前中の青森県さく井地質調査業協会主催の技術講習会に引き続き、午後1時より当協会主催の積算説明会を長谷理事長の挨拶で始めました。

出席者は、中央官庁の建設、運輸、農林水産省をはじめ又、県は土木、農林、水産、公社と各市町村の担当者多数が出席され予定人数の120名を大巾に上回るほどで会場は、熱

気に包まれ積算説明会に対する関心の高さが強く感じられました。

今回、積算委員会では、初めての試みとして積算資料に関するアンケート用紙を出席者全員に配布し、利用度、利用項目、年間利用回数、積算資料に関する要望などを記入して貰いました。その結果につきましては、整理がつき次第御報告させていただきます。

最後に、今回の開催にあたり、地元協賛協会の会員の皆様と、担当理事の方々には御多忙の中、ご協力をいただき心から厚く御礼申し上げます。

